アグリトレード・インターナショナル（Agritrade International）

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

家族経営の商社

アグリトレード・インターナショナル（Agritrade International）は1979年に家族経営のパーム油取引会社として創業し、のちに石炭事業へと拡大しました。香港上場の関連会社アグリトレード・リソーシズ（Agritrade Resources）は、インドネシアと中国で炭鉱を運営していました。創業者のン・セイペック（Ng Say Pek）が商社事業を率い、その息子ン・シンウェイ（Ng Xinwei）がシンガポール法人の最高経営責任者を務めていました。2018年ごろに商品市場が軟化すると、グループは苦境に陥りました。銀行が融資を停止するにつれ、資金繰りの問題は深刻化していきました。[1]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

2020年2月：モラトリアムの却下

アグリトレードの破綻は原油価格の暴落に先立つものであり、暴落とは無関係でした。シンガポール警察の商業犯罪捜査局（CAD）は2020年1月に捜査を開始し、2020年1月15日に同社の事務所を家宅捜索しました。最高経営責任者は2020年1月16日付の宣誓供述書において、同社の未払債務を約15.5億米ドルとし、そのうち約9.83億米ドルが担保付債権者に対するものであるとしました。同社は債務を再編するためにモラトリアムを申し立てました。[2]

銀行はこの申立てに反対しました。INGは、同社とその経営陣が財務状態を偽って表示し、同一の積荷について複数の銀行から融資を受けるために重複する船荷証券を発行していたと主張しました。INGはこの事件を「大規模かつ計画的な詐欺」と表現しました。コメルツ銀行は、専門家による調査に基づき、自行が融資した石炭の積荷は存在しなかったと考えていました。高等法院はモラトリアムを却下し、2020年2月に同社を暫定的な裁判所管理の下に置きました。その約5週間後には、正式な裁判所管理命令が発令されました。[3]

債権者

最大の貸し手は、約1.08億米ドルのメイバンク、約9,700万米ドルのING、約7,700万米ドルのMUFGでした。債権者にはこのほか、フランス、インド、イタリア、日本、中国、アラブ首長国連邦、韓国の銀行、10の私募ファンド、そして複数のグローバルな商品トレーダーが含まれていました。後に自らも破綻したサプライチェーン・ファイナンス会社グリーンシル（Greensill）は、3,000万米ドル弱の債権を有していました。無担保債権者のエクスポージャーは合計約9.17億米ドルに上りました。ロンドンの投資家が生産事業の支配持分に対して最大3,500万米ドルを提示しました

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

が、これは債務額を大きく下回る金額でした。合わせて2億米ドル超の債権を有するING、ナティクシス、コメルツ銀行は清算命令を申し立てました。同社は清算手続に入りました。[4]

粉飾決算と関係のある仕入先

刑事捜査により、破綻の何年も前から始まっていた詐欺が明らかになりました。2017年1月以降、同社の最高財務責任者リム・ベンキム・ルル（Lim Beng Kim Lulu）は、2016年度から2018年度までの連結財務諸表を銀行や金融会社に送付していました。これらは管理会計資料から作成されたものでしたが、監査済みとして提示されていました。ある事例では、部下に指示して2018年度の財務諸表に監査人の署名の写しを挿入させていました。貸し手が融資した資金の大部分は、仕入先とされる3社とその子会社に流れていました。これらの会社はアグリトレードと密接な関係にありました。幹部社員がその設立に関与し、あるいは取締役を務めていたからです。警察は、これらの会社のレターヘッド、書類のテンプレート、署名欄、社印をアグリトレードの事業所で発見しました。[5]

このように、アグリトレードの詐欺は興隆貿易（Hin Leong）の詐欺とは重点が異なっていました。興隆貿易では、書類が取引と積荷を偽っており、その中核にあったのは偽造された船荷証券でした。アグリトレードでは、中心的な虚偽は借り手の決算と仕入先の素性にありました。仕入先は実質的に同じグループの一部だったのです。もっとも、アグリトレードも無効な船荷証券を用いており、両方の手口はいずれの事件にも見られました。それでも貸し手にとっての教訓は異なります。積荷を確認しても、借り手の財務諸表を額面どおりに受け入れる銀行は、依然としてリスクにさらされたままなのです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

最高財務責任者の有罪判決

ルル・リムは捜査開始直後にシンガポールを離れました。インターポールの赤手配書によってアラブ首長国連邦で所在が判明し、2021年9月にシンガポールへ送還されました。彼女は特に、上海浦東発展銀行を欺き、同行に有効に質入れされたものとして提示された19通の船荷証券に基づいて、アグリトレードの仕入先に1,990万米ドルを支払わせた罪で起訴されました。[6]

2022年12月9日、彼女は刑法（Penal Code）第420条に基づく詐欺（cheating）11件と、第477A条に基づく会計記録改ざん1件で有罪とされました。2023年1月17日には禁錮20年の判決が言い渡されました。これらの犯罪は16の金融機関に関わるもので、各機関は2017年1月から2019年11月までの間に少なくとも5.865億米ドルの与信枠を供与していました。その損失は約4.691億米ドル、すなわち6.191億シンガポールドルに上りました。地方裁判所のコウ・ケンシオン（Kow Keng Siong）判事は、彼女が創業者の影響下で行動したという主張を退けました。判事は、30年の経験を持つ役員であれば、その任務を拒否して辞職することもできたはずだと指摘しました。詐欺によって会社は存続し、彼女の月給3万2,000シンガポールドルも支払われ続けていたのです。[7]

創業者の帰還

創業者は、捜査が公になる前の2019年末ごろにシンガポールを離れていました。その後、逮捕状とインターポールの赤手配書が出されました。中華人民共和国公安部の協力により、彼は国外退去処分となり、5年以上の逃亡の末、2025年12月1日にシンガポール到着時に逮捕されました。2025年12月2日、彼は刑法第420条に基づく詐欺（cheating）10件で起訴されました。起訴事実は、デジタル金融プラットフォームのファンディング・ソサエティーズ（Funding Societies）に関するものです。同社は、架空とされる請求書に基づき、2019年8月から11月までの間に10回の取引で800万シンガ

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ポールドルを融資していました。彼には無罪の推定が及びます。本書執筆時点で、判決は報じられていません。警察協力を通じて中国から逃亡者が送還されたこと自体、詐欺事件がしばしば国外へとつながる金融センターにとって注目に値します。この点については本部第V章で改めて取り上げます。[8]

注

1. *The Star*（Reuters）、“Collapse of Singapore commodity firm leaves lenders exposed”、2020年2月28日：アグリトレードは1979年に家族経営のパーム油取引会社として創業し、パーム油と石炭採掘を手がける。香港上場の子会社アグリトレード・リソーシズはインドネシアと中国で鉱山を運営し、2.44億米ドルの借入金について債務不履行に陥っていた——finews.asia、“ING and Maybank Top Creditors to Troubled Commodity Trader”、2020年3月3日：同社は商品市場が下落した2018年ごろに財務上の問題に直面し、多くの銀行が融資を停止した後、資金繰りの問題が悪化した。 ↩

2. Singapore Police Force、“Founder of Agritrade International Pte Ltd charged for cheating”、2025年12月2日：商業犯罪捜査局は2020年1月に貿易金融詐欺の捜査を開始した。*The Star*（Reuters）、2020年2月28日（前掲）：商業犯罪捜査局は2020年1月15日にアグリトレードの事務所を家宅捜索した——finews.asia、2020年3月3日（前掲）：ン・シンウェイの1月16日付宣誓供述書は、未払債務の総額を15.5億米ドルとし、そのうち9.83億米ドルが担保付債権者に対するものであるとしている。 ↩

3. *The Star*（Reuters）、2020年2月28日（前掲）：INGは、財務状態の虚偽表示と、同一の積荷について複数の銀行から融資を受けるための複数の重複する船荷証券を主張し、“a massive and pre-meditated fraud”と表現した。コメルツ銀行は、自行が融資した石炭の積荷は存在しなかったと考えていた——Global Restructuring

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Review、“Singaporean commodity trader placed under interim judicial management”、2020年2月20日（銀行団による詐欺の主張によりモラトリアム申立てが退けられた）。Global Restructuring Review、“Judicial managers appointed over Agritrade in Singapore”、2020年3月30日（暫定措置の約5週間後に正式な裁判所管理命令）。 ↩

4. *The Star*（Reuters）、2020年2月28日（前掲）：15の貸し手からなるグループが約6億米ドルを保有し、うちマラヤン・バンキング（Malayan Banking）が1.076億米ドル、INGが9,690万米ドル、MUFGが7,730万米ドルであった——finews.asia、2020年3月3日（前掲）：その他の債権者には、フランス、インド、イタリア、日本、中国、アラブ首長国連邦、韓国の銀行、10の私募ファンド、グローバルな商品トレーダーが含まれていた——GTR、“Scandal-hit Agritrade urges banks to accept ‘white knight’ investment”（2020年）：グリーンシルの債権は3,000万米ドル弱。無担保債権者のエクスポージャーは9.17億米ドル。Nithia Capital Resources Advisorsがアグリトレード・リソーシズの過半数持分に対して最大3,500万米ドルを提示。ING、ナティクシス、コメルツ銀行が清算命令を申し立てた——GTR、2021年9月22日（前掲）：アグリトレードは担保付債権者に対する9.83億米ドルを含め、15億米ドル超の債務を負っていた。強制清算命令は、合わせて2億米ドル超の債権を有するING、ナティクシス、コメルツ銀行が申し立てた。同社は現在清算手続中である。 ↩

5. Mothership、“S’pore commodity firm ex-CFO, 63, jailed 20 years for cheating, causing over S$619 million in losses”、2023年1月：2016年、2017年、2018年の各6月30日に終了する事業年度の改ざんされた財務諸表が、2017年1月以降、貸し手に送付された。部下が2018年度の財務諸表に監査人の署名の写しを挿入した——GTR、2023年1月18日（前掲）：与信枠の資金の大部分は、仕入先として提示されながらアグリトレードと実質的に関係のある3社とその子会社に流れた。リムおよび他の幹部社員がその設立に関与し、または取締役を務めてい

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

た。テンプレート、レターヘッド、署名欄、社印がアグリトレードの事業所で発見された。 ↩

6. GTR、2023年1月18日（前掲）：捜査は2020年1月に開始された。リムはシンガポールを離れ、インターポールが赤手配書を発行し、彼女はUAEで発見されて2021年9月にシンガポールへ送還された——GTR、2021年9月22日（前掲）：ルル・リムは詐欺および不正に財産の交付をさせた罪で起訴された。19通の船荷証券を“legally and validly pledged in the bank’s favour”ものとして提示し、SPD銀行を欺いてアグリトレードの仕入先に1,990万米ドルを支払わせたとされる。 ↩

7. Singapore Police Force、2025年12月2日（前掲）：元最高財務責任者リム・ベンキム・ルル（Lim Beng Kim, Lulu）は、2022年12月9日に刑法Section 420に基づく詐欺11件およびSection 477Aに基づく会計記録改ざん1件で有罪とされ、2023年1月17日に禁錮20年の判決を受けた——Mothership、2023年1月（前掲）：16の金融機関。2017年1月から2019年11月までの間の少なくとも5.865億米ドル（7.731億シンガポールドル）の与信。約4.691億米ドル（6.191億シンガポールドル）の損失。地方裁判所判事コウ・ケンシオン——Mothership、2023年1月（前掲）：判事は、彼女の30年の職務経験と、違法な任務を拒否して辞めることもできたことを指摘した。彼女の行為により会社は存続し、彼女は月給3万2,000シンガポールドルを受け取り続けることができた。 ↩

8. *The Star*（Reuters）、2020年2月28日（前掲）：Ng Say Peckは12月21日ごろにシンガポールを離れたと報じられ、息子は彼が中国に渡ったと理解していた——Singapore Police Force、2025年12月2日（前掲）：ン・セイペック（72歳）は2025年12月2日にSection 420に基づく詐欺10件で起訴された。Funding Societies Pte Ltdは2019年8月から11月までの間に10回の取引で800万ドルを融資した。中国公安部の協力により国外退去処分となり、5年以上の逃亡の末、2025年12月1日に逮捕された。法定刑の上限は禁錮10年および罰金である。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com